

「ふくおか」の
元気な企業を訪ねて。

Hello, Company!

No.43

筑後川が有明海に注ぐ水郷として知られる福岡県柳川市は、掘割の川下りをはじめ歴史や文化など多彩な魅力を持つ観光地。その地に柳川酒造はあります。2020年で創業130年。6代目の目野忠治郎社長は地域とともに歩んできた酒造りを守り、地域に貢献したいと観光客の受け入れにも力を入れます。時代に合わせた製品開発にも積極的です。

柳川酒造株式会社



現在は清酒だけでなく焼酎やリキュールも製造

DATA | 企業概要



企業名 柳川酒造株式会社
代表者 目野 忠治郎
所在地 福岡県柳川市三橋町百町766
TEL 0944-72-5254
FAX 0944-72-1700
URL <http://www.kuninokotobuki.co.jp>
従業員 5人
事業内容 清酒、焼酎、リキュール類、その他の醸造

作り手の顔が見える酒造り

創業130年

創業の1890年(明治23年)に作り始めたのは日本酒。早くから長崎など福岡以外にも出荷していました。主力ブランドの「国の寿(ことぶき)」



国の寿シリーズ

は、国の安寧や発展を祈念した創業者による命名です。社のモットーは「作り手の顔が見える酒造り」(目野社長)。酒米には福岡県産の酒造好適米を使い、その年の米の出来に応じて仕入れる地域のバランスを変えます。

事業活動を通じた地域との交流は活発です。酒かすを使い、地元の野菜で奈良漬を作って販売。酒造りの季節になると酒かすを買いに来るなじみ客や、梅酒に使った梅をケーキ作りに使うために求めてくる人もいます。地元の産品を原料に酒が造れないかという相談も少なくありません。

生産性と開発力がアップ



設備導入で生産性が向上した

(公財)福岡県中小企業振興センターからは、設備貸与制度による支援を2012年に受けました。対象は、瓶を洗う洗瓶機と

酒を詰める充填機、搬送するコンベヤーの3設備。先代の代表が導入しました。

大きな導入効果を示したのが従業員の負担軽減と生産性向上、製品開発でした。瓶の手洗いをなくすことができ、洗浄から充填までのスピードがアップ。また充填機を含めて、さまざまな容量や形の瓶に機械で対応可能になりました。従来は一升瓶のみだったラインアップに、4合瓶や5合瓶など時代に合った新製品が増えています。

観光に貢献する



観光客受け入れのための専用スペース

近年、力を入れているのが地元と連携した観光客受け入れです。そこには地域の観光振興に貢献したい思いと、歴史や

文化が豊かな柳川で酒造りを続けることを知ってほしいとの願いがあります。受け入れのため、米を貯蔵していた蔵や精米設備を置いていた場所を専用スペースに改装しました。テーブルなど内装には仕込みに使っていた古いたるなどを活用するほか、歴史を感じさせる酒造りの道具も展示しています。

新型コロナウイルス禍の中でも、自家製の消毒用アルコールやソーシャルディスタンス確保の準備を整えて今後の来訪者を待っています。

MESSAGE

経営者の声



目野 忠治郎 社長

酒造りに同じ年はなく、毎回が試行錯誤です。創業130年ですが130回しか作ったことがないとも言えます。これからも新しいことに挑戦し、時代に合った酒造りに取り組んでいきたいと思えます。現在は新型コロナウイルスの影響でお酒を飲む機会が減って事業は厳しい状況です。4月には地域のお役に立てればと消毒用アルコールの製造を始めました。公共機関や病院などで使われています。

〈お問い合わせ〉 債権管理課 TEL : 092-622-6322